

## テーマ【 私たちの生活と地球環境問題 】

千早赤阪村立千早小吹台小学校

### 《学習のねらい》

- ・家庭生活における消費電力と二酸化炭素排出量を簡易計算して知る。
- ・千早赤阪村近隣でのエコ活動、省エネ（自然エネルギー活用）研究の様子を知り、自分たちにできることについて考える。
- ・村にある水力発電実験施設／100 年前に作られ保存されている水車の見学を通して、自然エネルギー活用について関心をもつ。



### 《学習の流れ》

実施時期 9月～10月

	学習活動の主な内容	指導のポイント
1	<b>二酸化炭素排出量計算</b> ・事前に児童が家庭で調べてきたいいくつかの家電製品の中から、24時間稼働している冷蔵庫を取り上げ、消費電力から年間の二酸化炭素排出量を計算する。	■身近な電化製品の消費電力調べを通して、環境問題に関心を持たせる。
2	<b>地球温暖化の現状</b> ・水力発電の実験にも関わっておられる校区在住の推進員の方を、ゲストティーチャーとして招聘し、プレゼンテーションによる解説を受ける。	■地域の省エネ事例に触れさせ、伝統的な水車や、NPO法人の水力発電活動についての理解を深めさせる。
3	<b>校外学習〔水力発電実験施設（村内）の見学・実験〕</b> ・水路の水門を開いて実験設備に水を通し、落水の力でタービンを回して発電し、水車小屋の照明を点灯させる体験を行う。	■村内のエコ活動・省エネルギー（自然エネルギー活用）研究の様子を見学させ、環境保護への関心を高めさせる。
4	<b>ふり返り</b> ・地球温暖化や現在の環境問題について学んだことを新聞にまとめる。	■地球を守ることの大切さや今後自分たちにできることなどを考えさせる。

### 《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

大阪府地球温暖化防止活動推進員

### 《成果（児童の感想や反応 等）》

- ・「家の電化製品でこんなに二酸化炭素が出ているなんて驚いた。」  
「水の力で発電できるなんてすごい！と思った。」  
「プロペラを回したエネルギーで電気がついたのがすごかった。」  
「水車が村の松の木でできていることや、古い歴史があることが分かった。」  
といった自然エネルギー利用の可能性や本村の新発見・再発見に関する感想とともに、「環境を守るために節電や節水を心がけようと思った。」など、これからの生活の仕方について引き続き考えていくことの大切さを再認識した感想も上がっていた。

